

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 歴史的分野 「教科（帝国書院）」

95時間（70%）

週	内容	小単元名	主な学習内容（項目）	時間数	留意点	
1			学習の始めに	—	※空欄は通常の年間指導計画の時間数で対応。	
			第1部 歴史のとらえ方と調べ方			
	(1) ア	1. 歴史の流れと時代区分	①歴史をたどろう	1	・小学校社会科の学習を生かしながら、歴史的分野の学習の概要を把握させる。 ・時代の移り変わり、年代の表し方や時代区分について必ず扱う。	
	(1) イ	2時間	②時代の移り変わりと時代区分	1		
	(1) イ	2. 歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方	①調べるテーマを決めよう ②情報を集めて調べよう ③結果をまとめて発表しよう	1時間	※1	・長期休業中に身近な地域の歴史について、テーマを決めさせ、調べまとめる課題を出し、確認する。(※1は事前学習)
			第2部 原始・古代 古代国家の成立と東アジア			
	(2) ア	1. 人類の登場から文明の発生へ	①人類がたどった進化 ②世界各地で生まれる文明 ③東・南アジアの文明の広がり ④ヨーロッパで芽生えた文明	4時間		
2	(2) ア	2. 東アジアの中の倭(日本)	タイムトラベル①、② ①縄文から弥生への変化 ②ムラがまとまりクニへ ③鉄から見えるヤマト王権	4時間		
3	(2) イ・ウ	3. 中国にならった国家づくり	タイムトラベル③ ①ヤマト王権と仏教伝来 ②律令国家をめざして ③律令国家での暮らし ④大陸の影響を受けた天平文化	4時間		・③の学習で取り扱う
4	(2) イ・ウ	4. 展開する天皇・貴族の政治	①権力をにぎった貴族たち ②唐風から日本風へ変わる文化	2時間	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			第3部 中世 武家政権の成長と東アジア			
	(3) ア・イ	1. 武士の世の始まり	タイムトラベル④ ①各地で生まれる武士団 ②朝廷と結びつく武士 ③鎌倉を中心とした武家政権 ④武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化	4時間		
5	(3) ア・イ	2. 武家政権の内と外	①海をこえてせまる元軍 【歴史を探ろう】東アジアに開かれた窓口 博多 ②南北朝の内乱と新たな幕府 ③東アジアの交易と倭寇 ④琉球とアイヌの人々がつながく交易	4時間		・①の学習で取り扱う。 ※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
6	(3) イ	3. 人々の結びつきが強まる社会	タイムトラベル⑤ ①技術の発達とさまざまな職業 ②団結して自立する民衆 ③全国に広がる下剋上 ④庶民に広がる室町文化	4時間	家庭	※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			第4部 近世 武家政権の展開と世界の動き			
	(4) ア	1. 大航海によって結びつく世界	①イスラムの拡大とヨーロッパ ②大航海時代の幕開け ③東アジアの貿易と南蛮人	3時間		※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
8	(4) ア	2. 戦乱から全国統一へ	タイムトラベル⑥ ①信長・秀吉による全国統一 ②秀吉が導いた近世社会 ③戦国大名と豪商が担った安土桃山文化	3時間		・タイムトラベルについては小単元の中で効果的に扱う。 ※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
9	(4) イ	3. 武士による支配の完成	①幕藩体制の始まり ②朱印船貿易から貿易統制へ 【トライアル歴史】島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ ③四つにしぼられた貿易の窓口 ④琉球王国とアイヌの人々への支配	4時間	家庭	・「トライアル歴史」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。 ・④の学習で扱う
10	(4) ウ	4. 天下泰平の世の中	タイムトラベル⑦ ①身分制社会での暮らし ②安定する社会と諸産業の発達 ③各地を結ぶ陸の道・海の道 【歴史を探ろう】昆布ロードと北前船 ④上方で栄えた町人の元禄文化	4時間		・③の学習で扱う
11	(4) エ	5. 社会の変化と幕府の対策	①貨幣経済の広まり ②くり返される要求と改革 ③江戸の庶民が担った化政文化 【歴史を探ろう】世界有数の百万都市 江戸 ④学習をふりかえろう	3時間	家庭	・③の学習で扱う ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			第5部 近代（前半）近代国家の歩みと国際社会			
12	(5) ア	1. 欧米諸国における「近代化」	①市民革命の始まり ②人権思想からフランス革命へ ③産業革命と資本主義の成立 ④世界進出をめざす欧米諸国	4時間		
	(5) ア・イ	2. 開国と幕府の終わり	①日本を取りまく世界情勢の変化 ②幕藩の改革と幕府の衰退 ③黒船来航の衝撃と開国 ④江戸幕府の滅亡	4時間	家庭	・「トライアル歴史」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
13			【トライアル歴史】坂本龍馬暗殺のなぞ	4時間	家庭	

	(5) イ	3. 新しい価値観の下で	タイムトラベル⑧	1	・タイムトラベルについては小単元の中で効果的に扱う。
			①新政府による改革	1	
			②富国強兵をめざして	1	
14	(5) イ・ウ	4. 近代国家への歩み	③人々からみた富国強兵と文明開化	1	・③の学習で扱う
			【歴史を探ろう】世界に開かれた港 横浜	—	
			①新たな外交と国境の画定	1	
15	(5) ウ	5. 帝国主義と日本	②沖繩・北海道と近代化の波	1	・②の学習で扱う
			【歴史を探ろう】移住と開拓が進む北海道	—	
			③自由と民権を求めて	1	
16	(5) エ	6. アジアの強国の光と影	④帝国憲法の成果と課題	1	※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
			①アジアの列強をめざして	1	
			②朝鮮をめぐる対立 日清戦争	1	
17	(5) オ	1. 第一次世界大戦と民族独立の動き	③世界が目にした日露戦争	1	※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
			④ぬりかえられたアジアの地図	1	
			①近代日本を支えた糸と鉄	1	
18	(5) オ	2. 高まる民主化の意識	②変わる都市と農村	1	※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
			③欧米の影響を受けた近代文化	1	
			④学習をふりかえろう	家庭	
19	(5) カ	3. 軍国主義と日本の行方	【歴史を探ろう】発展する産業都市 大阪・神戸	—	・③の学習で扱う
			①第一次世界大戦の始まりと総力戦	1	
			②第一次世界大戦の拡大と日本	1	
20	(5) カ	4. アジアと太平洋に広がる戦線	③第一次世界大戦後の欧米諸国	1	※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。
			④アジアの民族自決と国際協調	1	
			①世界恐慌と行きつまる日本	1	
21	(6) ア	1. 敗戦から立ち直る日本	②強まる軍部とおとろえる政党	1	・①、③の学習で扱う
			③戦争につき進む日本	1	
			【歴史を探ろう】長野県からみる「満州」移民	—	
20	(6) ア・イ	2. 世界の多極化と日本の成長	①第二次世界大戦への道	1	・戦争学習を深めるために1時間扱い。
			②太平洋戦争と植民地支配の変化	1	
			③戦局の悪化と戦時下の暮らし	1	
21	(6) イ	3. これからの日本と世界	【歴史を探ろう】戦場となった沖縄	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			④ボツダム宣言と日本の敗戦	1	
			学習を振り返ろう	家庭	
第7部 現代 現在に続く日本と世界					
	(6) ア	1. 敗戦から立ち直る日本	タイムトラベル⑩	1	
			①敗戦からの出発	1	
			②新時代に求められた憲法	1	
20	(6) ア・イ	2. 世界の多極化と日本の成長	③冷たい戦争とその影響	1	・領土問題に関する内容については、新学習指導要領の規定に基づき扱う。
			①日本の独立と世界の動き	1	
			【歴史を探ろう】日本の領土と近隣諸国	1	
21	(6) イ	3. これからの日本と世界	②冷戦下での日本とアジア	1	
			③経済成長による日本の変化	1	
			④大衆化・多様化する戦後の文化	1	
	(6) イ	3. これからの日本と世界	①グローバル化が進む世界	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②激変する日本とアジア	1	
			③国際社会におけるこれからの日本	1	
			④学習をふりかえろう	家庭	

※時間数の精選方法（例）

○小学校社会科の学習とのつながりを意識し、教育課程の見直しを図る。

小学校6年生の社会科において、我が国の歴史については、歴史上登場する人物を中心として、我が国の歴史の大まかな流れや出来事を学習しており、小学校での学びと重複する第1章「歴史の流れをとらえよう」は、大幅に時数を削減することができる。この他の主な学習内容についても、指導者は、小学校での学習と重複する内容については、中学校の歴史的分野ではじめて扱う学習内容と軽重を図り、基礎的・基本的な知識及び技能等を身に付けさせる時間を確保することが求められる。

○歴史的分野については、主な学習内容に係る各単位時間の授業を削減することなく実施する。

本教科書会社の中学校歴史的分野の年間指導計画は、135時間計画ではなく、予定時数116時間と比較的余裕を持って設定されている。また、歴史的分野として身に付けさせたい基礎的・基本的な知識及び技能等の内容が記載されている以外のページ（例：「タイムトラベル」等）も時数として計算されているため、それらのページにかける時間を短縮するなどの工夫をすることで、通常の計画されている指導する時間数を削減することなく、歴史的分野のすべての学習内容を指導することができる。

○「学習をふりかえろう」は、家庭学習に位置付ける。

学校の授業では、基礎的・基本的な知識及び技能等の習得に重点を置き、まとめとなる「この章の学習を確認しよう」（※本来ならば、学校での授業時間にあてる）については、家庭学習の時間にあて、補充することも考えられる。